



全国一般評議会

闘争情報

No.234

2012. 8. 28

東京都千代田区六番町 1

TEL 03-3263-0441

FAX 03-5210-7422-5

全国一般第8回定期総会を開催 中小・非正規雇用労働者の組織化に取り組み 全国一般合同労組運動を前進させよう！ —未組織労働者の組織化・全国一般組織の拡大めぐり活発な議論—

8月26～27日、東京・「ホテルメトロポリタンエドモント」において自治労全国一般評議会第8回定期総会を開催し、113人が参加した。

総会は、八木澤副議長の開会あいさつではじまり、その後は、総会議長団に選出された上山代議員(岩手)と水野代議員(愛知)の議事進行により進められた。

主催者を代表してあいさつに立った大浦議長は「厳しい状況が続いている賃金闘争だが、当面する秋季年末闘争・年末一時金闘争においては、額・月数ともに前年を上回るようにがんばろう。各地で続発する争議について



は全国の仲間で支援しあいながら勝利していこう。全国一般と自治労との組織統合に係る諸課題については、公共民間評議会ははじめ自治労各級組織との連携の強化もはかりながら、解決まで皆が一丸となって進もう」と述べた。さらに、自治労協力国会議員の相原久美子参議院議員から連帯のあいさつを受けた。

主催者と来賓からのあいさつの後には、2012年度の活動の報告・総括が三木副議長から提案され、引き続き、全国一般と自治労との組織統合に係る諸課題の洗い出しと解決の方向性について議論が行われてきた「検討委員会」の中間報告が島添自治労総合労働局長から行われた。これら報告事項に対して、代議員からは、「検討委員会」が示した方向性が今後どのようなプロセスで具体的方針化されていくのか、その際、全国一般評議会の意見反映の方法はどのようになるか、といった点が質され、評議会執行部と島添局長の答弁を受けた後、報告事項は拍手で承認された。



その後、第1号議案「2013年度運動方針(案)」が亀崎事務局長から提案され、1日目の議事は終了した。

総会 2 日目は、種井事務局次長からの第 2 号議案「2012 年秋季年末闘争方針(案)」の提案ではじまり、続いて、現在争議を闘っている 8 つの地方労組(岩手・石川・大阪・兵庫・岡山・愛媛・福岡・長崎)からの報告を受けた。全国一般全体で争議組合を支援していくこ

とを確認するとともに、支援のための会場カンパも取り組まれた後、議案に対する質疑に移った。

代議員の発言では、「脱原発・反原発・反核運動の強化を」、「多くの未組織労働者の労働相談、雇用や賃金などに関する声を受け止め、組織化していく取り組みについてさらに具体化を。全国一般中小・合同労組組織拡大のビジョンをつくるべき」といった趣旨の発言が目立った。これらに対して、執行部側からは、「脱原発運動は、中央および全国各地での様々な闘いに加わりながら、さらに強めていくことを確認したい」、「評議会としての組織化に係る具体的取り組みについては検討する。組織拡大に特効薬はない。日頃の地道な活動が大事。各地域には組織拡大に向けての色々なチャンネルがあろうから、それぞれの地域でさらに工夫してほしいし、組織拡大を果たした事例・情報の交流をいろいろな場ではかっていきたい」といった趣旨の答弁があった後、第 1 号議案・第 2 号議案は、挙手採決により、圧倒的多数の賛成で可決した。

さらに、総会では、2 つの特別決議(「組織強化・拡大を実現し、争議組合を全面支援する決議」および「憲法改悪に反対し平和と民主主義を守り拡充する決議」と「総会宣言」が採択され、泉野副議長の開会あいさつ、大浦議長の音頭による団結ガンバロー三唱をもって総会は閉会した。

